

補助金チェックシート(新規)

作成年度:令和4年度

1. 補助金の内容

補助金名称	子育て短期支援事業補助金		補助金番号	C2-21	
所管部署	子ども未来部 子どもの育ち見守り室 子ども支援課				
根拠名称 (交付規則以外)	内閣府子ども子育て支援交付金要綱				
制定状況	○	制定済 ⇒	令和4年6月24日施行		
		未制定 ⇒	令和 年 月制定、令和 年 月 日施行予定		
交付の目的	家庭での子どもの養育が一時的に困難な場合に短期間施設で預かる「子育て短期支援事業」において、施設の感染症への対応力を強化し、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供することで、保護者が安心して社会活動を行えるようにする。				
補助対象経費	事業所等へのマスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品の購入費用				
補助率・補助額	その他				
交付先	枚方市子育て短期支援事業委託事業者				
開始年月日	令和 4年 10月 1日		サンセット期日	令和6 年度末	
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助	○	その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称			

2. 予算要求額

(千円)

	9 月補正	年度当初予算
要求(予定)額	300	
特定財源	国庫支出金	100
	府支出金	100
	その他	0
一般財源	100	0

(件)

交付見込み件数	1
---------	---

3. 「補助金の見直しに関する方針」との整合性

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は補助制度として承認されません)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	市が実施する子育て短期支援事業委託事業者の感染症対策経費に対して行うもので、特定のものの利益に供するものではない。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	第5次枚方市総合計画では、行政の主な取り組みとして、地域と連携しながら、「子どもが安全に過ごせる居場所づくりの推進」などに取り組むとしている。【関連施策目標:15子どもたちが健やかに育つことができるまち】
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	感染症対策を徹底するには備品購入等が必要とされるため、ニーズが高い補助金である。 国の補助金制度の対象であり、府内でも実施している市町村がある。

有効性	期待する効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	子育て短期支援事業の利用延べ件数は年々増加しており、感染症対策を徹底しながら事業を継続的に提供することで利用者増加の効果が見込まれる。ショートステイ利用延べ日数・利用者数等、効果測定方法が確保されている。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	事業所等へのマスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品の購入費用を補助することで、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供できるようになるため、補助金交付が効果的な手法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	市の事業の委託先である事業者が行う感染症対策経費を補助するため。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	補助金額に限度額を設けている。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	補助金額の算定方法や対象経費について要綱を作成する予定。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	ホームページ等で補助制度を公表している。

②補助金性質分類別の視点

[事業費補助]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓	市が事業委託契約している子育て短期支援事業者に限定した補助金交付となっている。
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓	交付団体の財政状況から補助金交付が必要であると客観的に認められる。